

公益社団法人 日本水産学会
令和2年度第4回理事会議事録

1 開催された日時 令和2年6月13日(土)13時01分～16時21分

2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス2号館200A-2
(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数 総数17名, 定足数9名

4 出席理事総数 16名

(Web会議システムによる出席)

金子豊二, 吉崎悟朗, 潮 秀樹, 八木信行, 廣野育生, 山下 洋, 中田 薫,
横山芳博, 佐野元彦, 越塩俊介, 木村暢夫, 落合芳博, 小島隆人, 平塚聖一,
野田幹雄, 大嶋雄治

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

杉田治男, 舞田正志, 野澤知世

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

坂本 崇, 二羽恭介, 小山寛喜, 澤山英太郎, 甘糟和男, 長阪玲子

7 出席オブザーバー

(Web会議システムによる出席)

東海 正(第9号議案の審議後13時24分に退席), 塩出大輔(第9号議案
の審議後13時24分に退席)

8 議 案

決議事項

第1号議案「令和2年度支部交付金の配分額」の件

第2号議案「企画広報委員会委員の交代」の件

第3号議案「学会賞選考委員会委員の交代」の件

第4号議案「水産技術誌監修委員会委員の追加及び幹事の交代」の件

第5号議案「東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)委員の交代」の件

第6号議案「名誉会員鈴木たね子氏の追悼文掲載」の件

第7号議案「令和2年度, 令和3年度及び令和4年度秋季大会」の件

第8号議案「令和4年度春季大会の担当支部」の件

第9号議案「令和3年度春季大会の開催日程, 場所及び方針」の件

第10号議案「令和3年度春季大会の業務委託業者」の件

第11号議案「令和3年度春季大会の募金目論見書」の件

第12号議案「アメリカ水産学会から, 人間活動の影響による気候変動について, 世界各国
の水生科学に関わる学会で共同声明(Statement of World Aquatic Societies on
Human-Caused Climate Change)」の件

第13号議案「入会承認」の件

報告事項 ① 第3回理事会以降の職務遂行の状況

② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

金子会長が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、金子会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

なお、令和 3 年度春季大会の開催方法に関する説明のため、本大会実行委員会の東海委員長と塩出氏がオブザーバーで参加したため、議案の順番を変更し第 9 号議案から審議を行いたい旨、金子会長から出席理事に伝えたところ異論がなかったため、第 9 号議案から審議に入った。

(決議事項)

第 9 号議案「令和 3 年度春季大会の開催日程、場所及び方針」の件

小島担当理事から、原案について説明があった。オブザーバーの東海委員長と塩出氏から、新型コロナ感染防止の観点からオンライン大会の提案と開催に向けた検討事項について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 1 号議案「令和 2 年度支部交付金の配分額」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。令和 2 年度支部交付金の配分額は次のとおりとする。ただし、関東支部及び中部支部については、令和元年度の期末残高が令和元年度支部交付金配分額を超過していたため、超過金額を差し引いて振り込む。

北海道支部	¥356,600
東北支部	¥330,700
関東支部	¥526,600
中部支部	¥385,600
近畿支部	¥345,300
中国・四国支部	¥374,900
九州支部	¥380,300
合計	¥2,700,000

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第 2 号議案「企画広報委員会委員の交代」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[辞任] 坂見知子 [選出] 奥村卓二

第 3 号議案「学会賞選考委員会委員の交代」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[辞退] 越塩俊介 [選出] 平松一彦

第4号議案「水産技術誌監修委員会委員の追加及び幹事の交代」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

委員追加〔選出〕 銭谷 弘，大和義久

幹事交代〔辞任〕 金庭正樹 [選出] 桑原久実

第5号議案「東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）委員の交代」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

〔辞任〕 佐藤秀一，田中教幸，中田 薫

〔選出〕 落合芳博，廣野育生

第6号議案「名誉会員鈴木たね子氏の追悼文掲載」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。本件について以下の質疑があった。

佐野理事「和文では4月に逝去となっているが、英文では5月と書かれている。」

吉崎理事「確認のうえ修正しておく。」

審議の結果、原案を一部修正のうえ出席理事全員一致で可決した。

第7号議案「令和2年度、令和3年度及び令和4年度秋季大会」の件

木村北海道支部担当理事から、新型コロナウイルス感染防止の観点から本年度秋季大会の開催を中止し、令和3年度秋季大会を北海道大学で開催するとの説明があった。本件について以下の質疑があった。

金子会長「令和3年度秋季大会は九州支部で開催予定であるが、1年延期することができるか。」

大嶋理事「宮崎大学に確認する必要がある。」

吉崎理事「宮崎大学から令和4年度秋季の開催で了解を得ている。」

横山理事「令和2年度秋季大会は中止あるいは延期として扱うのか。」

舞田監事「令和2年秋季大会は中止とし、令和3年度秋季大会を北海道大学が担当するとすればよい。」

金子会長「令和2年度秋季大会は中止とし、令和3年度秋季大会は北海道支部の北海道大学、令和4年度秋季大会は九州支部の宮崎大学が担当する。」

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第8号議案「令和4年度春季大会の担当支部」の件

金子会長及び吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、令和4年度春季大会の担当は関東支部とすることを出席理事全員一致で可決した。令和4年度春季大会は日本大学が担当する予定である。

(第9号議案「令和3年度春季大会の開催日程、場所及び方針」は上記のとおり。)

第10号議案「令和3年度春季大会の業務委託業者」の件

小島関東支部担当理事から、原案について説明があった。本件について以下の質疑があった。

吉崎理事「オンライン開催を検討する方針が承認されたため、見積書を大幅に変更する可能性があるため、再検討する必要がある。」

金子会長「オンライン開催の可能性があるのであれば保留にしてはどうか。」

審議の結果、オンライン開催の場合は見積書の内容に変更が生じる可能性があるため本議案は継続審議とし、令和3年度春季大会の開催方法を検討後、あらためて判断することとした。

第11号議案「令和3年度春季大会の募金目論見書」の件

吉崎総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、オンライン開催の場合には募金目論見書の内容に変更が生じる可能性があるため本議案は継続審議とし、令和3年度春季大会の開催方法を検討後、あらためて判断することとした。

第12号議案「アメリカ水産学会から、人間活動の影響による気候変動について、世界各国の水生科学に関わる学会で共同声明（Statement of World Aquatic Societies on Human-Caused Climate Change）」の件

金子会長から、原案について説明があった。本件について、以下の質疑があった。大嶋理事「アメリカ水産学会が本声明をどこに提出するのか、どのように利用するのか確認した方がよい。」

金子会長「詳細について事務局で確認しておく。」

舞田監事「水産政策委員会にも確認した方がよいのではないか。」

八木理事「水産政策委員会でも内容の精査を行う。」

中田理事「すでに漁業懇話会と水産環境保全委員会で内容を精査してないか。」

舞田監事「本声明が政治的に利用される可能性があるため、水産政策委員会でも確認した方がよいのではと提案した。」

金子会長「水産政策委員会で本声明が国際的に発表された場合の影響について確認してもらうことにする。」

審議の結果、本議案は継続審議とし、水産政策委員会で検討後にあらためて判断することとした。

第13号議案「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

(報告事項)

① 第3回理事会以降の職務執行状況

・会長

金子会長から、次の報告があった。

- 1) 水産・海洋科学研究連絡協議会は、令和2年6月10日にオンラインで会議が開催され、議長は竹内氏から古谷氏へ交代となり、各学会の情報交換等が行われた。
- 2) 令和2年4月にオンラインで開催された世界水産学協議会に参加し、WFC 2020が延期されるとの報告があった。

・庶務関係

吉崎担当理事から次の報告があった。

- 1) 資格喪失者（会費未納）のうち会費を納入した以下の者を退会へ変更した。
宮川昌志（正会員、平成11年度資格喪失）
- 2) 学会賞選考委員会委員選出選挙について、支部幹事へ7月中に選挙依頼を発送し、8月に開票する予定である。
- 3) 令和2年度各種委員会委員長及び副委員長を決定した。

- 4) 学会事務職員期末手当について規程に基づき加算して支給することとした。
- 5) 職員就業規程第 35 条(15)により学会事務局を令和 2 年 8 月 14 日 (木) ・15 日 (金) に夏季休業にする。
- 6) 協賛及び後援について
共催，協賛，後援の取り扱い申し合わせ 3)を適用した。

① 2020 年度日本冷凍空調学会年次大会

主 催	日本冷凍空調学会
協 賛	エネルギー・資源学会 他 34 団体
日 程	令和 2 年 9 月 9 日～11 日
場 所	Web 開催
希 望	協賛
負担金	なし

② 第 18 回高付加価値食品開発のためのフォーラム

主 催	日本食品・機械研究会
協 賛	日本栄養・食糧学会 他 15 団体
日 程	令和 2 年 9 月 25 日・26 日
場 所	帝人アカデミー富士 (静岡県裾野市)
希 望	協賛
負担金	なし

③ 第 39 回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

主 催	朝日新聞社，朝日学生新聞社
後 援	文部科学省 他 4 団体
協 力	日本動物園水族館協会
協 賛	日本水産(株)
希 望	後援
負担金	なし

・企画広報関係

廣野担当理事から，令和 2 年 5 月 12 日にオンラインで開催された第 2 回委員会について，次の報告があった。

- 1) 学会ホームページのうち国際交流の内容が更新されていないため，国際交流委員会に検討を依頼する。
- 2) 水産関係者有志による新型コロナウイルスと水産業への影響についてアンケート調査を実施することになり，学会のお知らせメールで周知し，アンケートの集計が済んだら委員会の記事として水産学会誌に掲載する予定である。

本報告に対して次の質疑があった。

金子会長「アンケートは本学会とは別で行うのか。」

廣野理事「そのとおりである。」

・財務関係

八木担当理事から，Springer から Fisheries Science 85 巻ロイヤリティの振込金額について報告があった。

・編集関係

潮担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 令和2年6月に **Fisheries Science** のインパクトファクターが1を超える予定である。
- 2) 受賞論文をオープンアクセスにするための費用を科研費から支払っているが、今後、継続的に予算を確保するため検討していく必要がある。

本報告について、以下の質問があった。

金子会長「インパクトファクターが1を超えた理由は？」

潮 理事「依頼総説の引用で上昇している。」

・学会賞関係

山下担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 学会賞推薦の書式変更を検討しているが、本年度の適用は間に合わない。
- 2) 日本農学進歩賞の推薦の選考を行っている。

本報告について、次の質疑があった。

金子会長「日本農学進歩賞の選考は、推薦がない場合、水産学奨励賞の受賞者から選考するのか。」

山下理事「本年度は、推薦1名と過去2年間の水産学奨励賞受賞者を含めて投票中である。」

吉崎理事「松永前委員長の提案では、学会賞推薦書式の作文量を増やすとの話であったが、理事会の議論で数年前に文章を短くした経緯があるとの意見もあったため、保留になっていないか。」

山下理事「対面による委員会は開催されていないが、理事会の議論を踏まえて各委員から意見聴取を行っているところである。」

潮 理事「学会賞とは別だが、日本学術振興会の賞などの受賞候補者の推薦も扱えないか。」

金子会長「外部の賞への推薦についても学会選考委員会で取り扱うことになっている。」

山下理事「総務から連絡があれば対応する。」

金子理事「育志賞などは学会からも推薦できるので、総務で判断のうえ委員会に連絡してはどうか。」

吉崎理事「学術振興会賞などは日本農学進歩賞の推薦と併せて検討することも可能なので、総務で相談のうえ山下理事に提案する。」

・シンポジウム関連

落合担当理事から以下の報告があった。

- 1) 本年度から委員長は平松氏が務めることになった。
- 2) 令和3年度春季大会のシンポジウムに2件の申請があった。

・出版関係

大嶋担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 委員会の委員長は細川氏が務めることになった。
- 2) 水産学シリーズの企画でe-水産学シリーズ2冊が9月と来年3月に刊行する予定である。
- 3) 水産学シリーズの「魚食と健康」の韓国語翻訳出版の契約を進めている。
- 4) 次回の出版委員会を7月8日に開催する予定である。

・水産技術誌監修関係

中田担当理事から、委員会の委員長は佐野理事、副委員長は銭谷氏が務めるとの報告があった。

・国際交流関係

越塩担当理事から、2020年度にアデレードで開催予定であったWFCが2021年に延期され、2024年はシアトルで開催予定であるとの報告があった。

・水産教育関係

山下担当理事から、水産教育推進委員会で開催予定であったミニシンポジウムを令和3年度春季大会に延期するとの報告があった。

・水産政策関係

八木担当理事 特になし。

・漁業・資源管理関係

小島担当理事から、次の報告があった。

1) 水産研究・教育機構から資源評価を行ってもらおう専門家の推薦依頼があり、5~6名程度推薦した。

2) 委員会の委員長に光永氏、副委員長に向井氏が務める。また、光永委員長より委員を追加したいとの要望があった。追加委員を事務局に連絡する。

・水産利用関係

横山担当理事、特になし。

・水産増殖関係

佐野担当理事 特になし。

・水圏環境関係

野田担当理事から、以下の報告があった。

1) アメリカ水産学会の共同声明について、水産環境保全委員会において検討し、内容的には肯定できるとの意見であった。

2) 令和2年度春季大会で開催予定であったミニシンポジウムは、令和3年度に延期して開催する。

・男女共同参画関係

中田担当理事から、男女共同参画学協連絡会の運営会議において、本学会の正式加入からオブザーバー加入への変更が承認されたとの報告があった。

・水産学若手の会関係

潮担当理事から、3月27日にオンラインによる委員会を開催し、活動報告と議事録を取りまとめたとの報告があった。

・社会連携関係

横山担当理事 特になし。

・将来計画関係

越塩担当理事から、令和2年3月26日に今後に向けた提言を行ったので、今後、理事会から指示があれば検討していくとの報告があった。金子会長から、総会の代議員制移行などの議論が新型コロナウイルスの影響で頓挫してしまっただが、来年度以降の総会の開催方法を含めて中期・長期の視点で検討していく必要があるとの発言があった。

・北海道支部、地域連携関係

木村担当理事 特になし。

・東北支部，地域連携関係

落合担当理事から，先週に第1回の幹事会をメール会議で行い，支部大会を10月10日と11日に岩手県で対面による開催を予定しているとの報告があった。本報告に対して以下の意見があった。

金子会長「開催方法は状況を見ながら臨機応変に判断してもらいたい。」

吉崎理事「新型コロナの対応に関する留意点について，各支部にメールでお知らせする予定である。」

・関東支部，地域連携関係

小島担当理事から，令和4年度春季大会は日本大学で開催予定であるとの報告があった。

・中部支部，地域連携関係

平塚担当理事から，支部大会の開催について検討中であるとの報告があった。

・近畿支部，地域連携関係

金子会長 特になし。

・中国・四国支部，地域連携関係

野田担当理事から，支部大会の開催について検討中であるとの報告があった。本報告について以下の質疑応答があった。

野田理事「支部大会で対面開催が出来ない場合，本年度春季大会のように要旨集の発送をもって開催が成立すると扱えるか。」

金子会長「講演要旨集の発送をもって開催とするのはやむを得ない場合に限られると思う。オンライン開催などフレキシブルに対応してもらいたい。」

大嶋理事「発表が単位に係わる学生もいるので，やむを得ない場合もあるかもしれない。」

吉崎理事「オンライン開催でセッションを1つで実施できる場合には，トラブルは少ないので，オンライン開催を積極的に活用することも検討してもらいたい。」

大嶋理事「了解した。」

金子会長「オンライン開催など柔軟な対応をお願いしたい」

・九州支部，地域連携関係

大嶋担当理事から，次の報告があった。

1) 本年度はスリム化して，大会と総会のみ開催する予定である。

2) 学生のことを考慮して，1回は発表の場を設けることにしている。

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

吉崎担当理事 特になし。

・東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）

落合担当理事から，メール審議による情報共有を行ったとの報告があった。本報告について以下の質疑があった。

金子会長「黒倉前担当理事より，10年経過したら委員会を閉める意見もあった。」

落合理事「委員長に確認しておく。」

・財務検討委員会（特別委員会）

八木担当理事 特になし。

② その他確認事項

(1) 令和2年度理事会開催日程

金子会長から、令和2年度理事会の開催予定日時の説明があり、日程を確認した。

(2) 令和2年度決算処理の日程

吉崎総務担当理事から、事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程と作業概要の説明があった。金子会長から、若干の日程変更の可能性はあるとの補足説明があった。

以上をもって Web 会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、16時21分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和2年6月13日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事